

『魏志倭人伝』に登場する国々

グループ	国名	比定地	現在の位置	備考	
九州地方の国	対馬海峡	対馬国	対馬	長崎県	魏の調査団が踏査した
		一支国	壱岐	長崎県	魏の調査団が踏査した
	北部九州	末盧国	北松浦半島西岸・佐世保	長崎県	魏の調査団が上陸した地点は佐世保付近
		伊都国	唐津湾・前原	佐賀県/福岡県	郡使が滞在する所。一大率常駐。前原が中心地
		奴国	博多湾から遠賀川付近	福岡県	
		不弥国	志賀島	福岡県	志賀海神社がある。金印で有名

魏志倭人伝に列記された二十一国	A	福岡から大阪方面の国々	奴国	博多湾から遠賀川付近	福岡県	九州の集合と本州の集合を結ぶため重出
			烏奴国	穴門→長門	山口県	
			支惟国	吉備	岡山県/広島県	一大率のいる強国。邪馬台国との関係深い
			巴利国	播磨	兵庫県	
			躬臣国	摂津	兵庫県/大阪府	
	B	邪馬台国周辺の国	邪馬国	山城	京都府	
			鬼奴国	茅渟→和泉・河内	大阪府	
			為吾国	伊賀	三重県	
	C	後の南海道に属する国々	鬼国	紀伊	和歌山県	
			華奴蘇奴国	阿波	徳島県	水銀朱など金属類を産出する
			呼邑国	淡路島	兵庫県	
			蘇奴国	讃岐	香川県	
			対蘇国	土佐	高知県	
	D	日本海ルート	姐奴国	伊予	愛媛県	
			不呼国	丹波	京都府	女王国と日本海を結ぶ。由基理の国
	E	滋賀・岐阜・長野方面の国々	好古都国	近江の坂田	滋賀県	息長氏の本貫
			弥奴国	美濃	岐阜県	
			都〔郡〕支国	土岐	岐阜県	
			伊邪国	伊那	長野県	
	F	伊勢志摩	己百支国	伊勢	三重県	
			斯馬国	志摩	三重県	

重要国	山陰の国	投馬国	出雲	島根県	独自の文化をもつ強大な国。以前は各地に影響力を持っていた
	女王の都	邪馬台国	大和	奈良県	奈良盆地全体。卑弥呼が活躍した頃を中心地は纏向遺跡のあたり
	東海地方	狗奴国	尾張・三河・遠江	愛知県/静岡県 三重県の一部	主に東海地方の連合国家か 連合の盟主が狗奴国であろう

その他	関東以北	朱儒国	関東・東北	関東・東北地方	
	北陸方面	国名不明	越	北陸地方	女王国の東、海を渡る千里。この海は琵琶湖
	日本列島以外の国	裸国 黒齒国	はるか南方の国	太平洋上の島国	魏は倭とは別の情報から判断したと思われる